政策等の詳細、日々の活動は
HP/Blog/Facebookにて発信中

豊島区議会議員

細川正博

巣鴨小OB。豊島に恩返し。
子供たちの世代へ責任ある政治を!!

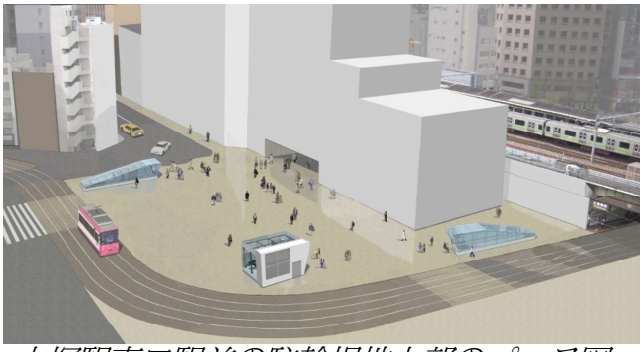
活動レポートVol.019

【ご連絡先】〒170-0005 豊島区南大塚1-51-17
TEL/FAX 3945-2530　　Mail info@hosokawamasahiro.jp

〔細川正博（ほそかわまさひろ）・略歴〕昭和53年南大塚出身。3児の父。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部を経て公益法人に勤務。平成23年初当選、2期目。豊島区議会区民厚生員会副委員長、青少年問題協議会委員、豊島消防団員、大塚三業通り商店街相談役、豊島区空手道連盟顧問、軟式野球連盟豊島リーグ副会長、龍馬ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ全国会総務局次長、自由民主党東京都連青年部　青年団体対策副委員長など。

大塚駅周辺整備事業について

3/9に大塚駅周辺を考える会が行われ、行政から大塚駅南口駅前工事の進捗状況や自転車駐車場の説明などがありました。工事は順調に進んでおり、28年度中に完了予定。北口整備は29年度中に設計、30年度から工事着工の見込み。自転車駐車場は700台規模で整備し、ラック式ではなく全面的に平置きとなります。



大塚駅南口駅前の駐輪場地上部のパース図

南口の地上部である駅前広場についての管理形態等については、分科会で議論します。

駅前広場は近隣の方が普段憩う場所になるのはもちろん、イベントスペースとしての役割も期待されます。

造幣局跡地防災公園の方向性

造幣局東京支局の移転が今秋に迫り、跡地活用に関して議論が進められています。約3.2haの敷地のうち、約1.7haを防災公園区域、約1.5haを市街地整備区域とします。市街地整備区域のうち、約2/3へ文化交流機能（教育・研究機関）、約1/3へ賑わい機能を誘導します。

26年度ワークショップによる公園プラン

このうち、防災公園区域について地域の方とのワークショップや説明会などを重ねており、28年4月にはほぼ全容が固まります（※上記図面は26年度に行われたワークショップによる公園プランです。その後の説明会等での意見を踏まえ若干修正となる見込みです）。

28年度中に防災公園の実施設計、29年度から防災公園の整備、完成予定は平成31年度末となっています。

児童養護施設の現状と課題

都内の児童養護施設の視察と講演会を実施しました。講演会の講師は、タイガーマスク基金の安藤哲也さん、大阪府知事認定子ども虐待防止アドバイザーの辻由起子さん、児童養護施設長。内容は社会的養護の現状と課題、家庭支援について。それぞれ違う現場を抱えているお三方が、口をそろえて児童養護施設や虐待などの現場への対処だけでは問題は解決しないと指摘していたのが印象的です。現場の課題へ対処をしつつ、根本の問題である教育や子育てに対する社会の認識を改めることが必要です。

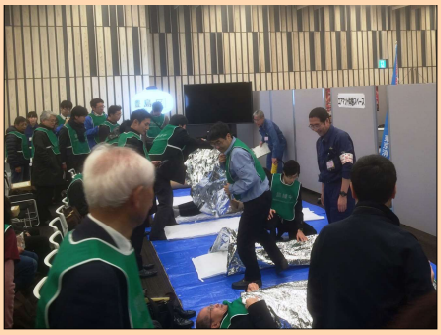
◇本号のトピックス◇

◆大塚駅周辺整備事業について
◆造幣局跡地防災公園の方向性
◆児童養護施設の現状と課題
◆防災・震災対策特別委員会
　・帰宅困難者対策訓練について
◆第１回定例会
　・平成28年度予算を可決　他

帰宅困難者対策訓練について　防災・震災対策調査特別委員会

27年12/14に実施された豊島区帰宅困難者訓練について、28年1/12の委員会で訓練の実施結果の報告がありました。
訓練の参加者は、区、池袋駅周辺混乱防止対策協議会、関係協力団体、一般公募区民などで、約1,000名。区災害対策本部、現地連絡調整所、一時滞在施設などの開設・運営訓練など。総合防災システムを用いた初めての訓練となりました。
当日の訓練を視察しましたが、本部と現地連絡調整所との通信訓練がうまくいっていませんでした。原因には通信回線の問題などがあるとのこと。問題点を指摘し専用回線の設置や通信業者との災害時の優先割当てなどの対応を求めました。

一時滞在施設の開設・運営訓練の様子



第1回定例会　平成28年度予算を可決

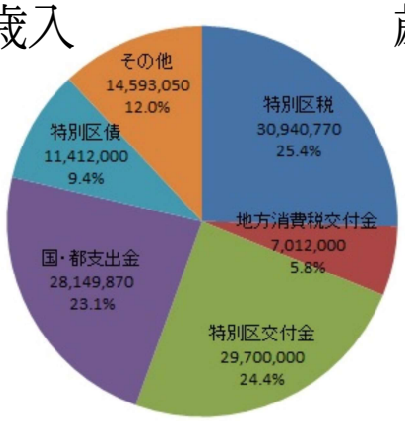
2/12から3/19（2日間延会）の会期で行われました。所属する区民厚生委員会の主な議案は、国民健康保険条例の一部改正（国保料の値上げなど）、後期高齢者医療広域連合規約の一部改正（均等割、所得割は微増、一人当たり平均保険料額は初の減額）など。

平成28年度予算特別委員会

第1回定例会では、次年度の予算についての特別委員会が開かれます。
（議員番号により年度毎に半数の議員が委員となります。私は今年度の委員ではありません）
平成28年度予算は、賛成多数により可決されました。当初予算は、一般会計が約1,218億円（前年比104億円増、+9.3%）、特別会計が約628億円（同17億円増、+2.7%）、合計で約1,846億円（同121億円増、+7.0%）となり、**過去最大規模**です。歳入は特別区民税の増加など、歳出は投資的経費の増加（学校改築事業、造幣局地区防災公園整備事業、豊島区民センター改築経費など）など。
持続発展都市に向けた施策展開（女性にやさしいまちづくり、高齢化への対応、様々な地域との共生、日本の推進力）、**住み続けたい街の創造に向けた投資、安定的な財政運営の確立**（財政調整基金の取り崩しがない予算編成）などが予算の特徴です。
子育て支援策では、待機児童対策として28年度に認可保育園10園の新設などを計画、民間の訪問型病児保育サービスへの助成、学童クラブの時間延長などが行われます。
学校改築は、池袋第三小学校、池袋本町地区小中連携校、巣鴨北中学校の3校が対象。
教育は、小中学校補習支援チューター事業の拡充（小学校分を年間20時間追加）など。

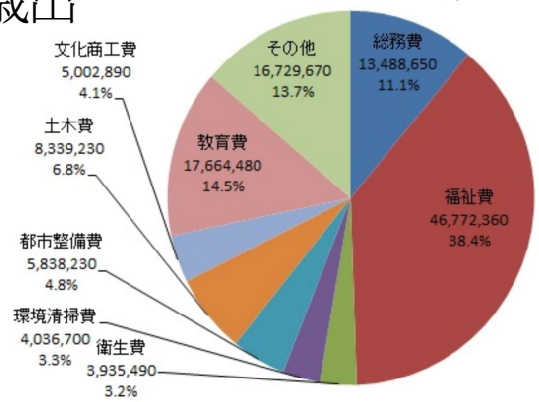
一般会計予算

歳入



歳出

単位：千円



区分	28年度	前年比増減
一般会計	1218.1億	+9.3%
国民健康保険事業会計	368.7億	+2.5%
後期高齢医療事業会計	58.0億	+0.3%
介護保険事業会計	201.0億	+3.9%
合計	1845.9億	+7.0%

旧庁舎跡地について

3/19～21に「旧庁舎・公会堂さよならイベント」が開催されました。旧庁舎は53年余り、公会堂は63年の歴史を重ねてきましたが、28年4月から解体工事に入ります。本定例会では、旧庁舎跡地等の定期借地権の設定・財産の無償譲渡（解体工事に必要）の議案が可決しました。旧庁舎跡地及び周辺まちづくりは、8つの劇場による賑わい創出などを打ち出していて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック前のグランドオープンを目指しています。

小中学校緊急トイレ改修について

全ての区立小中学校のトイレの全系統につき、洋式化などの改修工事を3年間で実施します。
28年度は小学校4校（朋有, 池袋第一, 駒込, さくら）、中学校2校（西巣鴨, 千川）の改修を行います。
29年度は小学校8校（西巣鴨, 清和, 朝日, 池袋, 高南, 長崎, 要, 富士見台）、30年度は小学校7校（朋有, 豊成, 清和, 池袋, 長崎, 椎名町, 富士見台）、中学校2校（西巣鴨, 駒込）の実施（複数年に跨る学校あり）。